

# 江口ひさみ通信

■発行日／平成26年8月1日 ■発行／葛飾区議会議員 江口ひさみ  
■葛飾区奥戸 8-11-7-213 TEL.03(3696)3189  
■葛飾区議会公明党 葛飾区立石5-13-1 TEL.03(3695)1111(大代表)

Vol.01

一人のために、  
全力。



## 江口ひさみ通信 スタート!



Greeting

日頃より真心からのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

地域の皆様と語らう中、多くの声を頂戴し、区民の皆様の生活向上、  
安全安心に暮らせる街づくりのために日々精進しております。

このたび日頃の議員活動の報告として「江口ひさみ通信」を作成致しま  
した。平成26年第2回定例会で行った初の一般質問の要旨をまとめて  
おります。是非ともご一読頂ければ幸いです。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 防災・減災対策 について



## 平成26年 第2回 定例会一般質問

**Q 質問** 東日本大震災や30年以内に70%の確率で発生すると想定されている首都直下地震を考えると、家具の転倒防止器具購入費助成制度の早期導入、介護事業者等との連携、協力など、より制度の実効性を高める工夫が必要と考えますが、区の見解をお伺いします。



▲定例会での一般質問

**A 答弁** 東日本大震災以降、区民の災害対策に対する意識は高まっており、平成25年度の世論調査では、「家具などを固定し、転倒防止を行っている」との回答が9.0ポイント増加しています。しかしながら、現状においても、全体の約4割であり、6割の方がいまだに対策を行っていないことも明らかとなっております。

このような状況の中、家具の転倒防止を促進していくには、お話にある介護サービスを利用されている方のご自宅の状況を把握されているケアマネジャーやホームヘルパーなど、介護事業者との連携した取り組みも重要であると考えています。

この区民の意識の高まりを逃すことなく、家具の転倒防止の促進など、実効性を高める取り組みを検討します。

**Q 質問** 「首都直下地震対策検討ワーキンググループ最終報告書」の中で、感震プレーカーの普及促進が新たな取り組みとして掲げられていますが、区としての認識と検討状況について伺います。

**A 答弁** 有効な減災対策であります。電力事業者が進めるべき事業とも考えられます。事業者や国などへの要請活動と並行して、密集事業と連携した設置促進などについても、検討を進めます。

※他の質問項目／災害時要配慮者避難支援計画の概要など

## 健康増進対策について

**Q 質問** 健康寿命の延伸と早世防止の達成には、広く区民への口コミティブシンドロームについての知識の普及・啓発が必要と考えますが、見解を伺います。

**A 答弁** 知識の普及と予防の喚起を区ホームページに追加しました。今後も講座の企画など積極的に取り組みます。

**Q 質問** 荒川区の「ころばん体操」などを参考に、運動機能の低下した高齢者などにも参加できるプログラムを展開すべきだと思いますがいかがでしょうか。

**A 答弁** うんどう教室などの事業の今後の展開と合わせて、「ころばん体操」のような取り組みについても検討いたします。

## 防災・減災対策の拡充と一貫した子育て支援体制の構築を

### 産後ケア体制について

**Q 質問** 母子保健コーディネーターの設置や妊娠・出産包括支援モデル事業などの国の取り組みを受け、本区の今後の取り組みについて伺います。

**A 答弁** (仮称)健康相談担当係の新設を検討するとともに、国の取り組みを精査し、その内容と同等以上の役割を担えるよう積極的に検討していきます。

**Q 質問** 一定期間、同じ保健師などに相談できるようにする必要がありますと思いますが、どのような取り組みを行うのかを伺います。

**A 答弁** 必要な方には家庭訪問し、同じ地区担当保健師が継続的に支援する仕組みを構築していきます。

### バス路線網等の拡充について

**Q 質問** 高砂一丁目地域や高砂団地周辺の交通アクセス解消について、区の考えを伺います。

**A 答弁** 地理的要因や狭隘な道路が多いなど難しい状況ではありますが、公共交通の充実について検討いたします。



江口ひさみプロフィール

●昭和38年12月 神奈川県小田原市出身、昭和57年 神奈川県立小田原城内高校卒、昭和61年 創価大学文学部社会学科卒 ●職歴／創価大学職員を経て、平成17年より介護の現場で勤務、平成25年、葛飾区議会に初当選 ●資格／介護福祉士 ●夫、長男、長女の4人家族、葛飾区奥戸在住